

十勝組だより

第26号

発行所 内務寺西町
事務所 十勝組々々
発行人 久幸白木
職業 住持
氏名 榎野 聡
住所 旭谷

副組長挨拶



十勝組副組長
千葉 照映

副組長(会計)の命を受け四年が過ぎようとしています。当初は何と面倒くさい職を任せられた事かと思っていきましたが、何とか苦々なパソコンにも慣れ、又、活きたお金の使い方も少しずつわかり、今では有難いご縁を頂いたと思っております。

さて、いよいよ四月九日より親鸞聖人七百五十回大遠忌法要がお勤まりになります。

私の寺では昭和三十六年の七百回大遠忌法要に四十数名の方とお参りさせて頂きましたが、昔の写真を見ますと現在存命しているのは三十二歳で参加した私の父だけ

で、皆さんお浄土へ還られております。

何と言いましても五十年に一度の大法要、私も五十路を過ぎ老眼鏡に頼る身となり、恐らく親鸞聖人の大遠忌法要は最初で最後のご縁であります。

親鸞聖人のご遺徳を偲び、歴史の重みに思いを馳せ共々にお参りさせて頂きたいものであります。

「壮年会の行事活動と本年度の行事計画について」

十勝仏教壮年会連盟

近年、恒例となつている総代会壮年会合同一泊研修会は、去る二月十三日・十四日の二日間亘つて、十八ヶ寺百十五名の参加のもと十勝川温泉観月苑において開催いたしました。

又、本年度は親鸞聖人七百五十回大遠忌法要の關係により一ヶ月

早めて四月十九日に定期総会、研修会を実施しております。六月二十三日には大正寺さんのお世話になり、茂岩パークゴルフ場において親睦パークゴルフ大会を予定しております。なお、平成二十三年度の総代会壮年会合同一泊研修会につきましては、来年の二月中旬頃の開催にむけ調整中です。

多くの行事を通じて同門の門徒の輪がより一層深まりますようお願いいたします。

会員の皆様方のご協力を心から願っています。

ご挨拶

十勝組仏教壮年会々長

大野 健正

昨年の総会において、十勝組仏教壮年会連盟の会長に選任されましたが、もとより浅学非才の私には荷が重く心もとなく思いますが、せっかくなのでお受けした次第です。皆様もご承知のとおり、最近のお寺を取り巻く環境は以前にも増して厳しく感ぜられます。特に若い人のお寺離れが大き

く、これは核家族化が一つの要因ではないかと思えます。そんな中であつて微力ではございますが、今後皆様のご協力を得ながら望ましい会の運営に当たつて参りたいと考えているところでございます。

今後とも変わらぬご指導とご協力を賜りますようお願いをし、ご挨拶とさせて頂きます。

青少年部

『二年を振り返って』

部長

藤本 実円

青少年部を母体にキッズサンガの活動を皆様のご協力のもと進めさせて頂き、三年目を迎えさせて頂きます。

『お寺を子供の居場所』を大きな柱として、これまでの法話の形態を物語形式でブラックライトシアターの作成と実演を通じて研修を継続してまいりました。新作も新たに加わり、今年度は更にオリジナルの作品をと計画しております。

本年、全寺院でキッズサンガを開催する最終年度に当たり、十勝

組では昨年の七月に僧侶・門信徒が共に『関わりを学ぶ』研修会を開催し、門信徒会連動研修協議会で発行されたかわら版でもご紹介をさせて頂いております。

尚、このかわら版は今後も継続して行く予定です。

この『全寺院 子どもものつどい』キッズサンガは、子ども会の開催を一カ寺でも増やそうとする活動ではなく、親鸞聖人の大遠忌法要をご縁に、浄土真宗本来のお寺の在り方を僧俗共に問うて行き、「いつでも どこでもあなたのことをみまもっているよ。大丈夫だから出来る事を精一杯してらん」と、次代を担う子供たちと私たちが命輝く人生を送らせて頂く大きな願いのもとに活動させて頂くものです。

本年七月二十七日には、総代会・壮年会・婦人会等の各団体の協力を得て、第一回目の十勝組キッズサンガを開催させて頂いたところ、ご協議を開催させて頂いたところでございます。

どうぞ、今後ともご協力をお願い申し上げます。

研修部

十勝組第九期

連研を開始!

研修部では、昨年度九月から第九期連研(門徒推進員養成連続研修会)を募集しました。十一月末でしめ切った第一次募集では、申込みが少数でしたので、二〇一一年一月末より三月末で、全面力での募集案内を作成し、各寺にご依頼をしてきました。その結果、効果を奏して、三月末までに三十五名の受講申込みを頂きました。

受講希望者とご参加頂く各寺院宛には、第一回四月三十日のご案内を送付しました。これらを受けて、三月三十日に研修部会を開催し、今後は二〇一一年度内に六、七回の開催を計画しています。第二回は五月二十八日、第三回は六月二十五日に開催を決定しています。

また、研修部では連研にかかわる自主的なスタッフを「公募」しています。各部の枠を超え、ともに僧侶スタッフのお一人として、ご参加頂くことで、僧侶・門信徒とともに、さまざまなテーマについて学びを深めて行きたいと思っ

ています。過去に連研経験のない若手や婦組された方々などのお申し出をお待ちしています。ご連絡は研修部脇谷まで。

寺族婦人会

十勝組寺族婦人会々長

白井ちさと

三月四日、帯広のガーデンズホテルにて定期総会と遅めの新年会を行いました。

桃井副組長の助言の下、活発な意見も出て二十三年度の総会を終えました。

美味しい昼食を頂きながら、日頃の話題に花を咲かせました。さて、その後は楽しみなゲームです。役員が趣向を凝らしたゲームを持ち寄り、皆、童心に返りました。

ささやかな景品に夢中になる姿、なんて可愛いんでしょう。ただ楽しいだけでなくこのゲーム類はお寺に帰ってから即、婦人会や子供会で実践出来るため、熱心にメモする人もおりました。「明日からまた頑張らしましょう」と言いながら、穏やかな早春の一日を終えました。

春の研修会は昨年に続き帯広別

院輪番の本川道法氏をご講師にお願いしました。親鸞さま大好きとおっしゃるご輪番が聖人の教えを熟つぽく語ってくださり時間が足りないくらいでした。

午後は会場を帯広美術館に移し、しばし芸術を堪能しました。

だまし絵で知られる版画家の「エッシャー展」を鑑賞、その創造力と緻密さに魅了されました。

ゆるやかな石畳の坂道を降りながら、次回の再会を約束して解散いたしました。

合掌

ピハラー後期活動報告

ピハラー十勝代表

藤本 徳美

二〇〇九年四月から始まった真宗協会特別養護老人ホーム「帯広慈恩の里」でのピハラー活動もこの四月で三年目にはいりました。スタッフに若坊守の新メンバーも加わり、月一度の活動日に入居者の方々と一緒に大きな声で唱えるおつとめやご法話、スタッフそれぞれが工夫を凝らしたお楽しみプログラム(ウクレレ・大正琴・スコップ三味線・オカリナ・体操・

昔話等々)。心待ちにして下さる入居者の方々と、共に歌い共に語り合える時間の中で、「施設の外の風」を届けさせて頂いています。

また九月八日、札幌別院で第一連区ビハラ研修会が開催されました。テーマ「老病死の受容」、講師に田畑正久氏。十勝からも八名のスタッフが参加し、「ビハラ十勝」の活動の事例報告もあり、活動者相互の学びの研鑽を重ねさせて頂きました。

最後に、いつも「集い」に集まられた入居者の方々と一緒に歌うビハララのテーマ曲の歌詞をご紹介します。これは、佐賀県真光寺のご門徒さんで長年、仏法を聞き、仏法をよるこび、仏さまと共に生きぬかれた、故佐藤キナさんが作詞、それに真光寺前坊守・田中美根子さんが作曲された歌です。「ひとりじゃなかもん」つまり「ひとりぼっちでは、ないよ」という歌です。

☆ひとりじゃなかもん☆

①ひとりじゃなかもん み仏と一緒に朝食 いただきます。

②ひとりじゃなかもん み仏ともやま話にはなさかせ。

③ひとりじゃなかもん み仏に不平も愚痴も話します。

④ひとりじゃなかもん み仏に両の手合せてもらいます。(①から⑧番中の抜粋)

大きな大きな阿弥陀さまのみにころに包まれて、ころがほつこりと温くなる歌です。ナマンドブナマンドブ……

十勝学びの会

十勝学びの会々々長

白井ちさと

昭和四十七年、親鸞聖人ご生誕八百年を記念して、中央仏教学院通信教育講座は創設されました。昭和五十五年、当時中央のお勤めの講師でございました勝興寺住職小澤真了先生の助言の下、先輩達のお骨折りで「十勝学びの会」は発足いたしました。

ご講師には組内の住職様方、別院の職員の皆様にお世話になりましたこと、深く感謝申し上げます。

現在は真宗の講義を光心寺住職桃井信之先生に、お勤めを帯広別院の谷口昭栄先生にお願いし、在校生の勉強を支援しつつ、同窓生も自らの学びを続けております。今の会員は五十五名、年四回の

学習会と中仏から派遣される先生を招いての学習会を行っております。

道東地区の学びの会は十勝だけのため遠く釧路、北見、富良野方面からも受講生が集い、その熱心さに後押しされながら、次回の準備を進めております。

平成十七年からは思いがけず十勝組から助成金を頂くことになり、有難く活用させて頂いている次第です。

合掌



平成二十二年度 一味会活動報告

平成22年
5月27日 一味会総会

雌阿寒 18名

6月17日 東西交流ソフト大会

札内川河川敷 15名

懇親会 北の栖 12名

8月23日 定例会(担当…桃井直行)

西別院 12名

9月27日 定例会(担当…津村拓信)

西別院 12名

10月21日 定例会(担当…窪寺貴洋)

西別院 14名

10月27・28日 十勝組基幹運動僧侶研修会協力

観月苑 6名

11月29日 定例会(担当…鈴木克彦)

西別院 8名

12月14日 特別研修会(青僧協協賛)

※1参照 西別院 14名

忘年会・懇親会

草乃 15名

平成23年

1月29日 定例会(担当…高川玄成)

西別院 12名

2月18日 定例会(担当…白井教生)

西別院 9名

※1 講座「自死に向き合う」今、

わたしに出来る事」

講師、自死対策に取り組む

僧侶の会代表、東京教区安

楽寺住職 藤澤 克己氏

参加総数、63名(大谷派3

名、曹洞宗1名、真言宗1

名)

七味会

平成二十二年度事業報告

七味会会長 高久百合香



平成二十二年度の活動は、はじめに一月の総会で新役員を選出いたしました。新役員は、会長 高久百合香(新泉寺) 副会長 桃井敦子(光心寺) 白井郁江(光明寺) 庶務会計 皆川智恵(太子寺) 監査 渡邊貴恵(西別院)です。私たちは年に二回程度の研修会を企画しております。まずは春の研修会を五月二十四日に行いました。女性には欠かすことのできないお料理を「旬の野菜を使ったおもてなし料理」と題して、梅安信子先生が主宰のNOB.U.K.I.T.C.H.E.Nを会場に、素敵なキッチンや器を使いながら、日頃のお料理のヒントやおもてなしの心配りをご指導して頂きました。参加した七人で七品に挑戦し、おいしく楽しい時間を過ごしました。十二月七日には冬の研修会として、光心寺ご住職桃井信之氏をお招きして「坊守(若坊守)として浄土真宗・お寺を考える」の講題で研修しました。「坊守も若坊守も日々宗教、真宗について勉強する必要がある。自身で自分の核になるものを見つけていく努力は大切なこと」など様々なお話をさせて頂き、参加者



七名は心を新たにしました。その他に、組や一味会主催の様々な行事・講演会等にも参加させて頂きました。二十三年度も例年通り春・冬の研修会を考慮しておりますが、これから話し合いを持ち決めていきます。会員の皆様が多数参加して頂けますよう、役員一同考慮し取り組んで参ります。

合 掌

第三十八回『真宗成人講座』

今年で第三十八回を迎える『真宗成人講座』が二月二日(水)午後～四日(金)午前まで十勝川温泉観月苑に於いて開催されました。

行信教校より同校校長・利井唯明先生(講題 阿弥陀経)と同

校講師・山本根叡先生(講題 ご消息のころ) 両名

にご出向いただき、

分かりやすく且つ

密度の濃いご講義

を賜りました。

十勝組・釧路組・

北見組をはじめ、

遠路大阪・広島・

島根からの参加者

もあり総数四十一

名が受講いたしま

した。

編集後記

発刊がまた遅れましたことお詫び申し上げます。

次号の発刊は七月下旬を予定して下さりまして、誠にありがとうございます。

白井

十勝組・帯広別院テレホン法話 当番担当表 2011(平成23)年度

玄誓寺	宝照寺	光明寺	照経寺	光音寺	浄教寺	照経寺	真経寺	法念寺	本證寺	南家寺	報徳寺	大船寺
12月16日	12月17日	10月16日	11月17日	10月16日	10月17日	9月16日	9月17日	8月16日	7月16日	7月16日	6月16日	6月16日
土 本	木 恒	日 恒	日 恒	日 恒	日 恒	日 恒	日 恒	日 恒	日 恒	日 恒	日 恒	日 恒
周 作	周 作	周 作	周 作	周 作	周 作	周 作	周 作	周 作	周 作	周 作	周 作	周 作

☆宗門目標 御同朋の社会をめざして
☆スローガン ともにいのちがやく世界へ

テレホン法話 (0155)21-7777
十勝組ホームページ <http://www.tokachiso.com>
北海道教区ホームページ <http://www.hokkaidohongwanji.jp>
[IDは寺院番号6ケタ、パスワードは教区時報第194号に各寺同封]